

長谷工、独自 BIM の統合データベース基盤として、 建築設計 AI プラットフォーム「Tektome（テクトム）」を採用

大規模言語モデルを用いた設計作業の効率化・品質チェック強化を実現

建築設計業務の AI ソリューション企業である株式会社テクトム（本社：東京都渋谷区、CEO：北村尚紀、以下「当社」）は、株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、代表取締役社長：池上一夫、以下「長谷工社」）が構築する LLM^{※1} AI システム（以下「長谷工 AI システム」）の基盤に、当社の建築設計 AI プラットフォーム「Tektome（テクトム）」^{※2} が採用されたことをお知らせします。

当社が提供する建築設計 AI プラットフォーム「Tektome」は、建築設計に関するあらゆる非構造化データから構造化データを構築することが可能な AI プラットフォームです。設計者は日本語のプロンプト指示により、従来のシステムより簡易に素早く、そして正確に建築設計に関する構造化データベースを構築することができます。

「Tektome」上に構築される長谷工 AI システムは、「長谷工版 BIM^{※3}」を活用した長谷工社のさらなる DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進を目的とするものです。①「長谷工版 BIM」が保有するデータと、BIM の外に保有する各種データを統合したデータベースの構築、②設計仕様データを利用した品質チェック機能の構築、③言語指示による自動設計機能の構築を段階的に進めることで、設計者のデータ入力および図面チェックに要する時間の 50%削減を目指します。

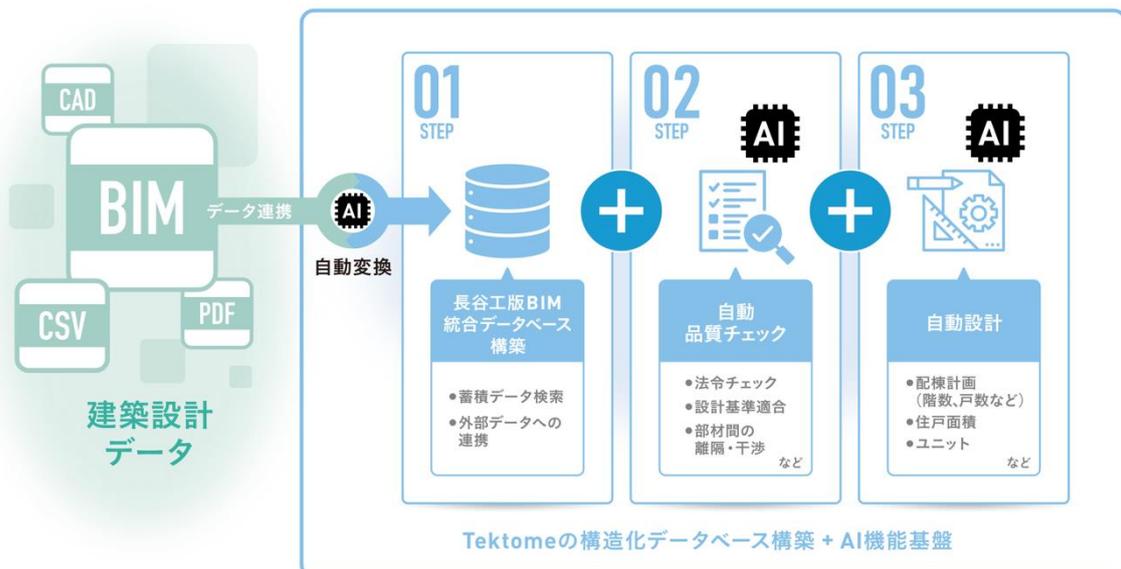
当社は、建築設計 AI プラットフォーム「Tektome」の研究開発を進めるとともに、長谷工社と共同で長谷工 AI システムの研究開発を推進し、人の手による作業が AI による作業に移管され、人がやるべき仕事を効率的に行える環境を実現します。

※1…LLM：「人間の自然言語を理解・処理・生成すること」に特化した AI (LLM：Large Language Model)

※2…建築設計 AI プラットフォーム「Tektome」：建築設計データの統合管理、構造化、AI 活用を実現する統合プラットフォーム

※3…長谷工版 BIM：長谷工独自のマンションに特化した三次元建物モデル (BIM：Building Information Modeling)

【「Tektome」×長谷工版 BIM イメージ図】



【株式会社テクトム 会社概要】

テクトムは、建築設計 AI プラットフォーム「Tektome (テクトム)」を提供する AI ソリューション企業です。建築設計に関する AI の研究開発・製品開発を進め、蓄積された膨大な設計ノウハウから熟練者の技能を引き出すことで、建設 DX の実現を支援していきます。

会社名：株式会社テクトム

所在地：〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-10-5 テック広尾ビル7階

代表者：北村 尚紀(代表取締役)

設立：2020年

URL：<https://tektome.com>